







SDGs宣言達成状況報告書

私たちは、宣言書に記載した取組目標の達成状況を次のとおり報告し、持続可能なまちづくりに向けて、次のとおり取り組むことを宣言します。

報告日 2023 年 3 月 15 日

事業所・団体等又は関連事業者等としての2030年の（又は中長期的な）あるべき姿			
環境に直接影響をもたらす商材を販売する企業として、エコに対する意識改革の発信とステークホルダーと共に持続可能な地域経済の発展に寄与する			
事業所・団体等又は関連事業者等としてのねらい、特徴的な活動			
環境配慮商品の情報を継続的に発信し、取引先に対し「コストにとられない商品ブランディング」「企業CSR」の認識付を徹底していく			
目標に関連する取組内容			
ゴール	2022年12月31日までの取組目標	左記取組目標の達成状況	2023年12月31日までの取組目標
			社員からの業務改善提案を募集 検討 & 実施会議
	循環型社会の一員として、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の視点で社員それぞれが意識を高め実行できる	リサイクル素材の新商品は社内回覧、会議等で共有	リユース、リサイクル素材商品の勉強会の開催（年6回）
	CO2削減、省エネルギーの機器、設備を積極的に取り入れる、エアコンの新機種への入替、エコ運転、安全運転研修	店舗エアコン、高機能換気設備の導入 2022.10 エコ運転安全運転研修は未実施安全運転報告書は毎月各車提出継続中	新車両の導入
	プラスチックからCO2排出量削減できる素材の袋及び容器に置き換えることを得意先に更に積極的に進める。弊社における化成品の売上のうち、自然由来のバイオプラを含む商品を売上を25%まで押し上げる	コロナ禍の景気低下もあり、バイオプラスチックの販売量を25%まで上げることは叶わなかった。	継続して、バイオプラ製品の販売率を高めるよう努める 現在より120%販売量を増やす
	森林管理認証の製品の販売、森林破壊や劣化の抑制を推進する。カトラリー及び弁当容器については、売上の80%をFSC認証を受けた商品へシフトする。	コロナ禍の景気低下もあり、FSC認証を受けた商品の販売を売上の80%にシフトすることは叶わなかった。	FSC認証を受けた商品の販売量を120%増加させる
	販売活動を通して、地産地消に貢献する、地域活性化のイベントに協力する	・地域産の商品を開発、販売する得意先の売場を紹介・店舗駐車場でのマルチ開催、得意先に無償で場を提供（年6回）	

（記載上の注意）

- 1 取組目標は3つ以上のゴールについて目標を設定し、記載してください。
- 2 取組のない目標については、行ごと削除してください。
- 3 取組目標は、出来る限り定量的に記載してください。
- 4 ゴールとの関連が不明なものは「その他」に記載してください。
- 5 取組目標については、毎年1月に達成状況を報告していただきます。

1	事業所・団体等又は関連事業者等の名称	株式会社 牧野製袋	
		本社が届け出る場合は、事業所（支店・営業所等）の数	
2	業種	7. 卸売・小売業	
3	従業員（構成員）数	65名	
4	代表者 職・氏名	職名	代表取締役
		氏名	牧野 志保
5	所在地	〒 422-8027	
		静岡県駿河区豊田1-6-6	
6	ホームページURL	http://makino-seitai.co.jp/	